



THE ADECCO GROUP

COVID-19に対する 各国施策の成果の比較

(分析時期：2020年5月中旬)



Contents

A. エグゼクティブサマリー	3
B. はじめに	5
C. マクロ経済分析	6
D. 各国の対策概要	13
E. 結論	16
F. 国別の簡単なまとめ	17

A. エグゼクティブサマリー



目的：本レポートの狙いは、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）に対する各国政府の対応を比較し、どの政策が最大の経済効果をもたらすかを評価することにあります。本レポートは、2020年4月中旬に発表された初版に続く第2版であり、経済指標が更新されるとともに、2カ国（日本と米国）が追加されました。



方法論：前回と同様の方法で、各国の政策（封鎖／隔離措置、および労働者と企業への経済支援策の両面を含む）に対し、12カ国のマクロ経済指標を比較しながらプロットします。



結論：今回、分析を行った時点では、政府による対策の効果が現れ始めており、データから以下の結論を導き出しました。

- **スイス、スウェーデン、およびドイツ**では、引き続き最も好調な経済予測が見込まれ、特にスウェーデンがリードしている状態です。これらのトップグループ（グループA）では、以下の政策を実施しています。
 - 労働時間の短縮
 - スイスとドイツで、GDPの最大10%に相当する大規模な経済刺激策（1カ月前のGDPの6～8%から増加）
- 他の国は以下のようなランキングになりました。
 - グループBは、指標に対して全般に高いパフォーマンスを示しているものの、弱点が見られる国々で、**ベルギー、フランス、オランダ、米国、および日本**が含まれます。
 - グループCは弱点は多いものの、良いパフォーマンスも見られる国々で、**オーストリアとイタリア**が含まれます。
 - 明確に最低層（グループD）を形成しているのは**スペインと英国**で、指標全般に対して低いパフォーマンスを示しています。
- 特定された相関関係の一つとして、死亡率が高い国ほどGDPの下落幅も大きいという傾向が見られます。ただし**スウェーデン**は例外で、死亡率が高いもののGDPはそれほど大きく下落していません。
- 国内の感染者数は、経済的影響を測る上で有用な指標ですが、それだけが決定要因ではありません。政府の対応の効果が見られる**スイス**では、感染者数は多かったものの、マクロ経済的影響は最小限に抑えることができています。しかし**英国**はその逆で、感染者数は比較的少なかったものの、大きな経済的影響を受けています。

提案：

初版の発表から1カ月が経過し、COVID-19への各国政府対応の効果を見る限り、私たちの提案が正しかったことが確認されましたが、以下のような一連の知見も新しく蓄積されました。

- ・ 経済活動の維持：労働者の健康と安全は絶対的な前提条件であるものの、この危機の特異な点として、経済活動が停止した状態が長引くほどマイナスの経済的影響が指数関数的に増大し、経済復興の可能性も損なわれるということが明らかになりつつあります。
- ・ 即応性：経済刺激策を政治の力で迅速に実施した国ほど、GDPを良い状態で保てているということが1カ月後のデータによって確認されました。現時点で重要なのは、支援策を拡張し調整することです。特に、経済刺激策に予算を追加し、支援の枠組みを延長することが大切になります。
- ・ 社会の平和：このパンデミックでは、過去のいかなる危機よりも、すべての国の意思決定者が協力することが求められています。対立ではなく交渉に基づく社会的な対話のモデルが実践されている国ほど取り組みに成功しているということが、ランキングによって明らかになりました。もう一つの重要な点として、経済成長に向けたペースを加速させるためには、政治的なプロセスへの信頼や消費者の信頼感も必要であるということも確認されました。
- ・ 雇用の支援：データによると、ヨーロッパの労働者の約4分の1（5,000万人）について、労働時間の短縮やそれに類する対応がとられたとのこと。人々の雇用を維持し、解雇を避けることが、感染症による経済的インパクトを持ちこたえるための適切な対応であると見られます。これらの制度の実施状況は、包括性、規模、期間などの点で、国によって異なることが分かっています。社会保障と予測可能性を確保するために、すでに十分な保護制度を導入していた国では、この指標で最も優れた結果が出ています。
- ・ 企業と労働者に対する財務的支援を推進する取り組み：現在、多くの国の企業や労働者は、各国の刺激策で発表されている給付金をまだ受け取ることができていません。この遅れは消費を抑制し、すでに貧困と倒産の拡大をもたらしており、経済復興にも悪影響を及ぼすでしょう。危機を緩和するためには、企業や労働者に資金を届けることが不可欠です。



B. はじめに

今回の新型コロナウイルスによる危機的状況は、各国にかつてない規模の影響をもたらしています。国境を越えて拡大するウイルスの犠牲にならないように、各国で国民を守る対策を取る必要があったためです。どの国も経済や労働市場、消費行動などを含むあらゆる面で、その影響から逃れることはできませんでした。経済、政策、金融政策、そして労働市場政策においても、今までにない水準での政治的介入が行われています。20年4月に発表した本レポートの初版で指摘した通り、ウイルスの封じ込め政策は人々の健康を維持するためには役立つものの、不景気をいっそう進行させます。この避けられないトレードオフのために、各国の政府によって多様な対応（その規模、範囲、開始までのスピードやコミュニケーションの仕方に至るまで）が実施されてきました。

本レポートの目的は、各国政府のCOVID-19対策を比較し、最も効果的な政策を特定することにあります。この第2版の結論では、4月発行の初版の分析に基づき、傾向の特定を進め、今もパンデミックの渦中にある国々のために引き続き教訓を導き出すことを目指します。私たちは現在も依然として不完全なデータをもとに分析を行っています。そのため本レポートは引き続き「更新中の文書」として、各国政府の対策がもたらした影響がより明確になった時点で、随時アップデートされる予定です。

本レポートでは、オーストリア、ベルギー、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、そして新たに追加された日本と米国の12カ国を取り上げます。これらの国が選ばれたのは、実施された多様な政策対応を世界的視野で検討するためです。本レポートの今後のバージョンでは、分析対象国が増える可能性もあります。

この分析では、以下の変数を検討しました。

- マクロ経済指標
- ロックダウン／隔離対策の種類とタイミング
- 企業支援策
- 労働者支援策（該当する場合は派遣労働者も含む）

一連の同じ指標に沿って整理された国別の概要を加えることで、得られた分析結果を補足しました。

C. マクロ経済分析

方法：

3月、4月およびCOVID-19前の時期（2020年1月から2月）におけるマクロ経済KPIの差異を比較することで、検討対象の12カ国をランク付けしました。

各国のランキングに基づき、1（最高）～12（最低）のスコアを割り当てます。最終的に全スコアを集計し、スコアが最も低い国が最高の評価となります（つまり複数のKPI全体で平均して好成績を収めた国が1位となります）。

今回の想定条件に基づく「最高」とは、KPI指標全体の平均が、平常時と比べて最も変化が少ないこと（例えば、失業率の上昇幅が最も少ない、GDPの下落幅が最も少ない等）を意味します。

結果：

上記の方法論に基づき評価を行ったところ、マクロ経済への影響を最も軽減できた国は、引き続き**スイス**（スコアは14点）で、政府が効果的な政策を実施したことが分かります。他方、**スペイン**では、まだ対策による成果は得られていません。**英国**は、過去1カ月の間に順位を大きく下げました。

今回の分析で、一定のパターンが浮かび上がってきたため、パフォーマンスに基づき各国を4つのグループに分けました。

- ・ **グループA**は、スイス、スウェーデン、およびドイツで構成され、指標全般で成果を示しています。
- ・ **グループB**は、全般に高いパフォーマンスを示しているものの、個別的な欠点が見られる国々で、ベルギー、フランス、オランダ、米国、および日本が含まれます。
- ・ **グループC**は、オーストリアとイタリアで構成され、欠点が多いものの、個別的には良いパフォーマンスも見られる国々です。例えば、オーストリアはGDPで2位、イタリアは失業率の相対的な変化において2位となっています。
- ・ **グループD**を構成しているのはスペインと英国で、指標全般に対して低いパフォーマンスを示しています。

	人口100万人当 たりの感染者数	感染者の割合が 低い順位	経済KPI 合計スコア
オーストリア	1,763	2	37
ベルギー	4,612	11	33
フランス	2,718	6	32
ドイツ	2,060	3	26
イタリア	3,636	9	37
日本	125	1	32
オランダ	2,497	4	34
スペイン	5,735	12	45
スウェーデン	2,641	5	19
スイス	3,506	8	14
英国	3,286	7	45
米国	4,187	10	34

出典：5月12日、WHO

	GDP			失業率			
	%	1月の予測との比較	ランク(スコア)	%	予測	予測との比較	ランク(スコア)
オーストリア	-5.5%	-6.5%	2	4.4%	5.8%	31.8%	6
ベルギー	-7.2%	-8.4%	6	5.2%	7.0%	34.6%	7
フランス	-8.2%	-9.5%	9	8.1%	10.1%	24.7%	3
ドイツ	-6.5%	-7.6%	5	3.2%	4.0%	25.0%	4
イタリア	-9.1%	-9.6%	10	9.7%	11.8%	21.6%	2
日本	-5.0%	-5.4%	1	2.4%	4.3%	79.2%	9
オランダ	-6.8%	-8.4%	7	2.9%	5.9%	103.4%	11
スペイン	-9.4%	-11%	12	13.6%	18.9%	39.0%	8
スウェーデン	-6.1%	-6.9%	4	7.6%	9.7%	27.6%	5
スイス	-5.0%	-6.5%	2	2.3%	2.7%	17.4%	1
英国	-8.3%	-9.7%	11	3.7%	6.7%	81.1%	10
米国	-6.5%	-8.5%	8	3.7%	9.2%	148.6%	12

EC SF 5/20 IMF (2020年4月)

Eurostat EC SF 5/20

株式市場指数					
	3カ月前との比較	1月1日	最新	年初との比較	ランク(スコア)
オーストリア	-30.1%	3,229.4	2,200.8	-31.9%	12
ベルギー	-26.4%	4,015.9	3,067.8	-23.6%	8
フランス	-25.8%	6,041.5	4,472.5	-26.0%	9
ドイツ	-20.6%	13,385.8	10,819.5	-19.2%	6
イタリア	-29.4%	23,836.3	17,559.3	-26.3%	10
日本	-14.0%	23,204.8	20,366.5	-12.2%	3
オランダ	-17.1%	612.9	520.4	-15.1%	5
スペイン	-32.5%	9,691.2	6,762.7	-30.2%	11
スウェーデン	-17.1%	1,808.6	1,570.0	-13.2%	4
スイス	-12.7%	10,699.8	9,733.5	-9.0%	1
英国	-21.2%	4,231.7	3,294.6	-22.1%	7
米国	-12.6%	3,257.9	2,870.1	-11.9%	2

Market Watch

Market Watch

	景況感指数 (ESI)			コンポジットPMI			
	絶対値	前回との比較	ランク(スコア)	絶対値	3カ月前	前回との比較	ランク(スコア)
オーストリア	61.9	-40%	11	31.6	50.2	-37%	6
ベルギー	60.3	-40%	10	41.3	52.9	-22%	2
フランス	82.7	-22%	1	11.1	51.1	-78%	10
ドイツ	72.1	-29%	3	17.4	51.2	-66%	8
イタリア	71.6	-29%	4	10.9	50.4	-78%	11
日本	21.6	-44%	12	25.8	50.1	-49%	7
オランダ	65.6	-36%	9	41.3	52.9	-22%	2
スペイン	73.3	-29%	2	9.2	51.5	-82%	12
スウェーデン	67.7	-32%	5	45.9	49.1	-7%	1
スイス	60.7	-33%	6	36.0	49.5	-27%	4
英国	62.4	-35%	8	13.8	53.3	-74%	9
米国	86.9	-34%	7	27.0	40.9	-34%	5

Market Watch

Trading Economics (GlobalEconomy)

注目すべきスコア

- **GDP¹**：最も少ない減少幅：日本とスイスにおけるGDPの減少幅は5%と比較的小さく、パンデミック以前の推定値と比べると、それぞれ-5.4%ptおよび-6.5%ptとなる見込みです。
- **失業率²**：結果が最も悪かったのは米国で、パンデミックのために急上昇し始めています。推定値は、148%（EC、2020年5月）から191%（IMF、2020年4月）までのばらつきがあります。オランダでも、失業率は2倍（103%）に増えると予測されていますが、全体的な失業率の数字は比較的小さめの5.9%にとどまる見込みです。スイスは17.4%増で、労働市場が最も効果的に守られています。
- **株式市場³**：減少幅が最も少なかったのは引き続きスイスでした。一方、最も大きかったのも引き続きオーストリアでした。今回の分析では、主にこの要因のために、オーストリアのランキングが下落しています。
- **景況感⁴**：EU内の経済大国であるフランス、ドイツ、イタリア、スペインで、最高の消費者信頼感が記録されています。つまりこれらの国の消費者は、パンデミックのピーク時期に深刻な公衆衛生上の危機に直面しているにもかかわらず、経済復興について最も楽観的な（もしくは悲観的でない）見通しを持っているということです。
- **購買意欲⁵**：スペイン、イタリア、およびフランスが最も大きな下落を示しており、それぞれコロナ前と比べて約5分の4の水準になっています。

¹ 2020年4月のGDP成長率を1月の予測値と比較（IMFの予測による）。

² 4月の失業率を1月の予測値と比較（IMFの予測による。IMFのデータがない場合はEurostatのデータを使用）。

³ 関連する現地の株式市場指数（CAC40、DAX、SMIなど）。COVID-19前の2020年1月1日（年初・YTD）との比較からリバウンドも検討。

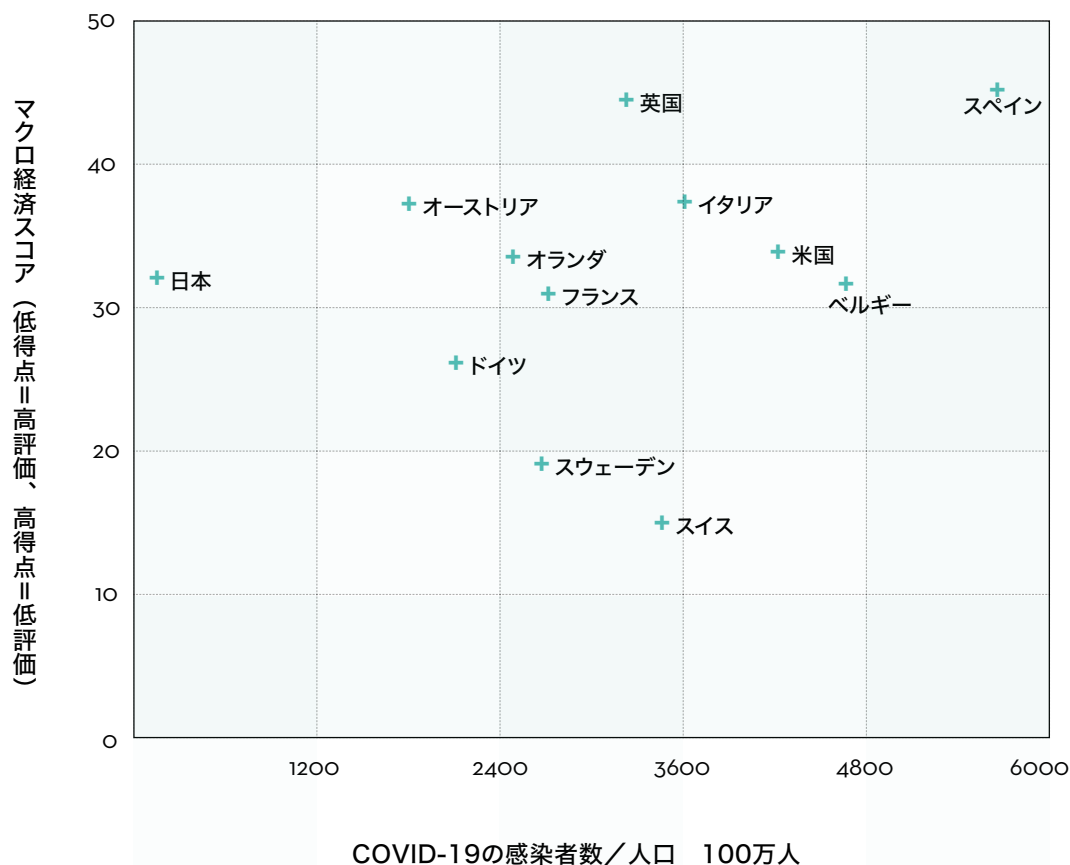
⁴ 景況感指数（ESI）は、重みが異なる次の5部門の信頼感指数で構成される総合指標：鉱工業信頼感指数（40%）、建設業信頼感指数（5%）、サービス業信頼感指数（30%）、消費者信頼感指数（20%）、小売業信頼感指数（5%）。ESIポイントの増加は、産業レベルと消費者レベルの両方で状況が改善していることを示します。

⁵ コンポジットPMI（製造業とサービス業の組み合わせ）。

このパンデミックにおける景気動向は、保健衛生の状況の深刻さによって左右されます。マクロ経済指標と感染者数（人口100万人当たりの感染者数）を比較検討すると、経済の曲線と保健衛生の状況の深刻さとの間に一定の相関があることが分かります。ただし、こうした比較の中で、プラスまたはマイナスの方向に顕著に振れる国もあります。これは、政府の対応などのその他の要因も、経済的な成果に重大な影響を及ぼす可能性があるということを示唆しています。

その結果、以下のようないくつかの見解を導き出すことができました。

- **スイス**は、今までのところ成功していると言えそうです。過去数週間で新規感染者数は安定してきたため、スイスの人口100万人あたりの感染者数は12カ国中5位となり、マクロ経済KPIへの影響も最小限にとどめることができている。
- 対照的なのは**英国**で、人口100万人あたりの感染者数は比較的抑えられているものの、政府による対策は、マクロ経済に対する影響を避けるために十分であるとは言えません。
- 本稿の初版（20年4月中旬に発表）では、**スウェーデン**と**英国**で同様の成果が見られましたが、他の国と比べてパンデミックの進行が遅れていたことが原因であったようです。しかし、両国の事情は過去5週間で変化し、大きく異なる結果が出ています。両国の現時点における人口100万人当たりの感染者数は、全分析対象国の平均（3,064人）に近い数字ですが、マクロ経済KPIのスコアを見ると、**スウェーデン**（人口100万人あたり2,641人）は全体の中で2位、**英国**（人口100万人あたり3,286人）のランキングは**スペイン**（人口100万人あたり5,735人）と同じで最低となっています。
- **スペイン**は、人口100万人あたりの感染者数が最も多いため、最も難しい対応を迫られています。
- **日本**の人口100万人あたりの感染者数は125人で、他のすべての分析対象国と比べてはるかに少ない数字となっています。ただし、マクロ経済KPIへの影響度は、**グループB**の他の国と同水準となっています。



公衆衛生危機の深刻さと、その経済への影響との関係について理解を深めるため、最新のGDP推移の予測（Y）を、分析対象国における感染者死亡率（X）に対してプロットしました。その結果、各国は以下の2つのグループにはっきり分けられました。

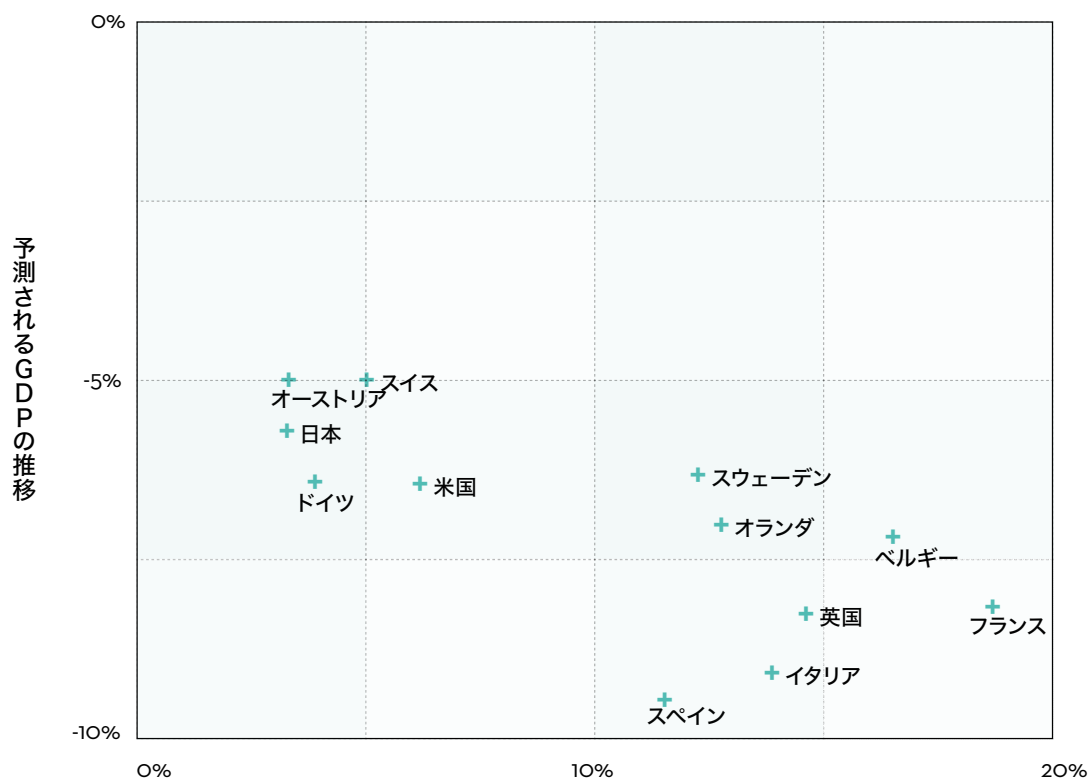
1. 感染者死亡率が6.5%未満の国はすべて、GDPの下落幅も6.5%未満にとどまると見られます。

2. 他方、感染者死亡率が11%を超える国はすべて、GDPの下落幅が6.8%を超えると見られます。



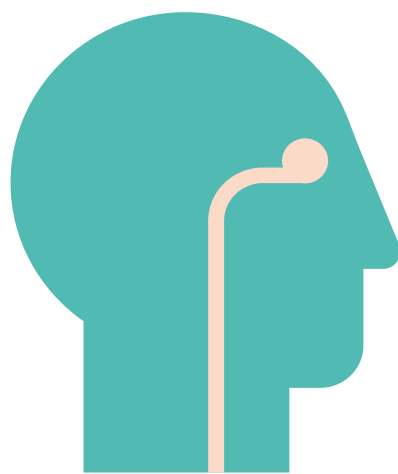
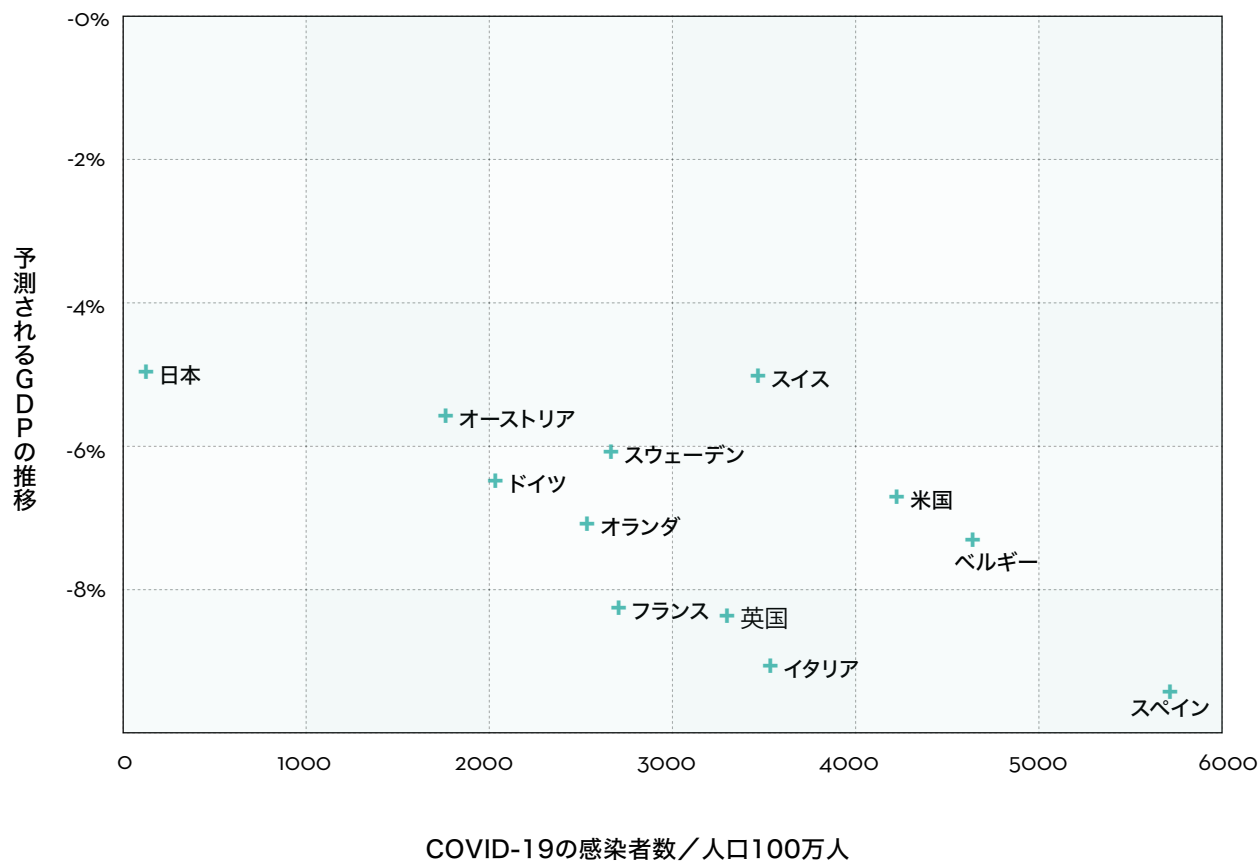
唯一の例外として、スウェーデンは、感染者死亡率が12%を超えているものの、GDPの下落幅は6.1%となっています。

以上により、感染者が増えないように早期に投資を行い、公衆衛生の対応力を維持するアプローチは、命を救うだけでなく、経済の急落も防ぐということが確認されました。



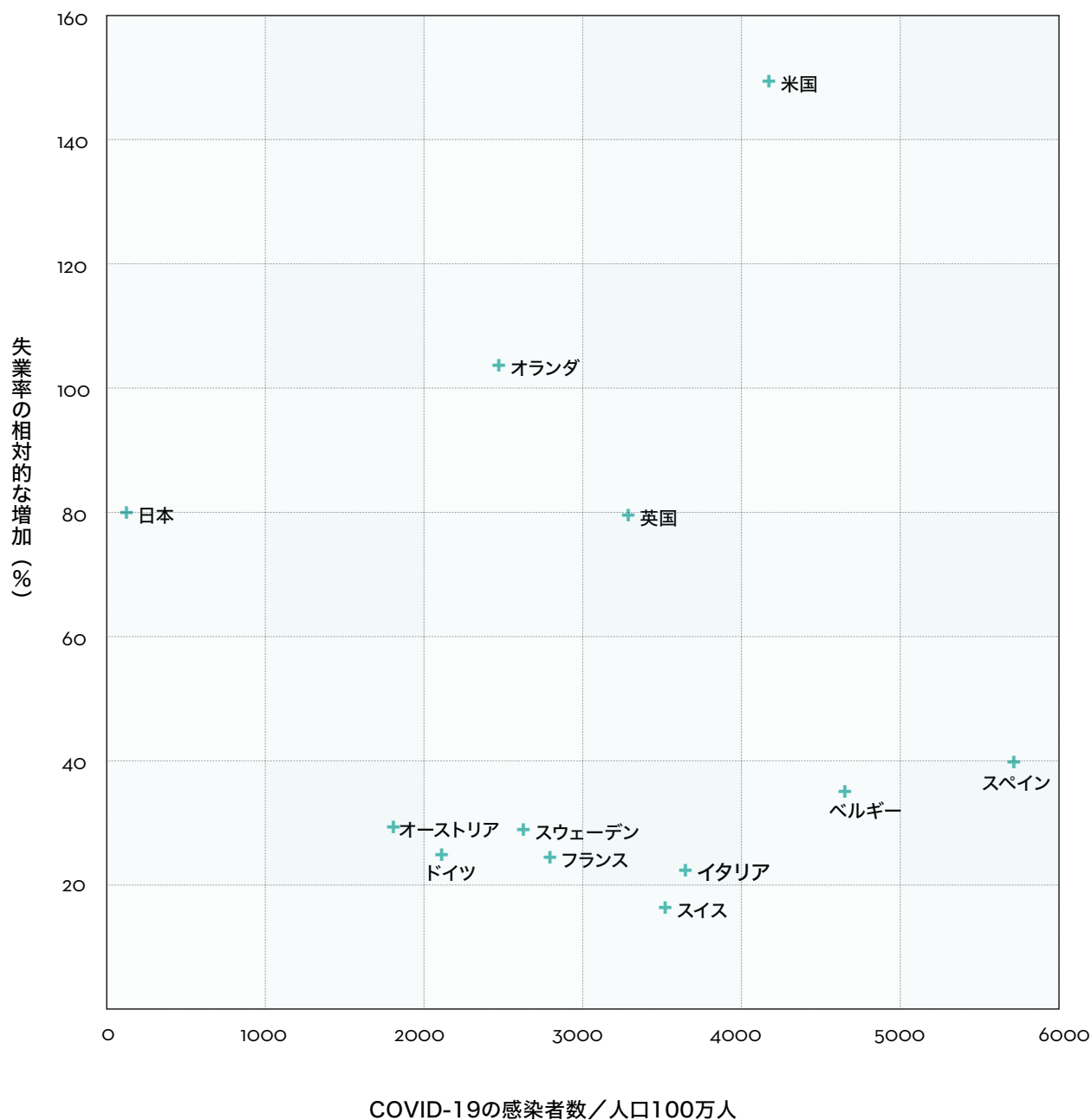
感染者死亡率（2020年5月11日）

感染者死亡率ではなくCOVID-19の人口100万人当たりの感染者数に対してGDP推移予測をプロットすると、若干異なる図になりますが、これは、COVID-19の感染者数と死亡者数を追跡する方法が各国で異なるためであると思われます。この比較では、**グループA**の国々に加え、特に**日本**と**オーストリア**も成果を示しています。



人口100万人当たりの感染者数（X）に対する**失業率**の相対的な増加（Y）を見ると、12カ国の中でも**日本、英国、オランダ**、そして**特に米国**の4カ国の労働市場が、パンデミックの結果、極端な大打撃を受けると見られます。これらの労働市場には、それぞれ以下のような異なる特徴があります。

- 日本、オランダ、および英国は、失業率が急上昇していますが（それぞれ79%増、103%増、81%増）、もともとの失業率は低めでした。これらの国の失業率は、今回の上昇を踏まえても、他国のCOVID-19前の水準よりも低めにとどまる見込みです。それでも、この失業率の急上昇は懸念すべき兆候であることには変わりはないため、各国の政策立案者は何らかの対処を迫られるでしょう。
- 米国は、比較対象国の中で、労働時間の短縮がいかなる形でも行われなかった唯一の国です。米国の失業率は3倍に増えていることから、将来的に経済が復興するまで労働者が失業しないように努める各種の制度の有効性が示された形となりました。



D. 各国の対策概要

以下は、各国で実施されている最も一般的な対策の概要です。

- 全般
 - 現段階ではすべての国が、企業および労働者向けの経済支援策を導入しています。実際、ほとんどの国では、刺激策の第2弾や制度の拡大・延長がすでに実施されています。
 - COVID-19の検査に対するアプローチの違いが、政府の政策にも引き続き影響をもたらしています。ただし、検査を実施する政府の能力は、（実際の検査提供能力以上に）戦略的な政策のアプローチと深く関係しているわけではないということが明らかになりました。科学を重視する政府からすれば、政策立案のベースとしての適切なデータにアクセスできることが不可欠です。
 - 国庫を解放して財源として活用する各国政府の対応が、引き続き注目されます。本レポートの初版から1カ月が経過し、資金の注入は、最も多い国でGDPの最大11%にまで及んでいます。しかし、ほとんどの国では経済刺激策の規模はGDPの2～5%であるため、国によって違いが現れつつあります。
 - COVID-19の感染者数と感染者死亡率は、公衆衛生の観点から、各国におけるパンデミックの深刻さを理解する手がかりとなるものです。「感染者死亡率」は、確定した死亡者数と感染者数の間の比率を表します。
- 企業に対する支援
 - 本レポートの初版から1カ月が経過し、すべての政府は企業向けに幅広い対策の提供を続けています。例えば、融資の条件の緩和や、特定の税金、料金、社会保障の積立金などの免除や延期、事業コストに対する助成金の提供などです。こうした助成金は、労働者の給与などの特定の目的のために用途が限定されるケースや、汎用的な資金として提供されるケースもあります。
 - 最も多く実施されている包括的な対策は、労働時間の短縮であるようです。国によってモデルは異なるものの、その根本的な狙いは従業員を維持することであり、労働者の給与（の一部。労働者が合意した時間分）を政府が補償します。労働時間の短縮を実施する期間は、通常、政府が設定します。2020年4月末時点では、EU 27カ国の4,200万人以上の労働者（EU全体の労働者の約4分の1）について、労働時間の短縮やそれに類する制度の利用申請が出されたとのことです。英国とスイスも含めれば、労働時間の短縮の申請件数は5,000万以上にのぼります。

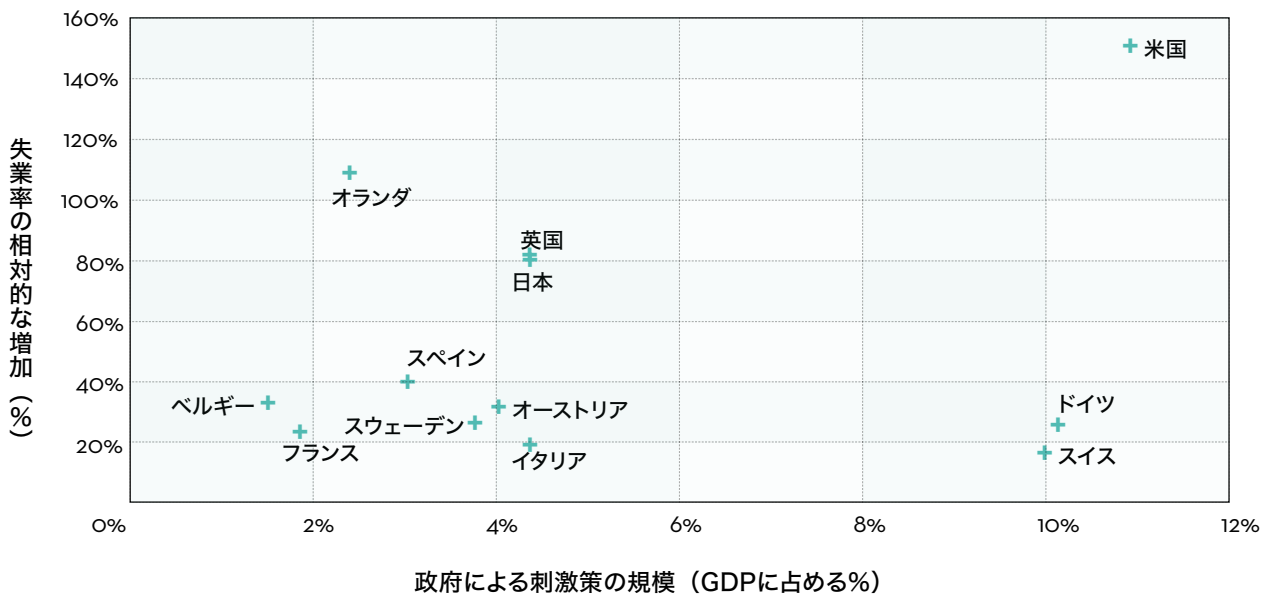
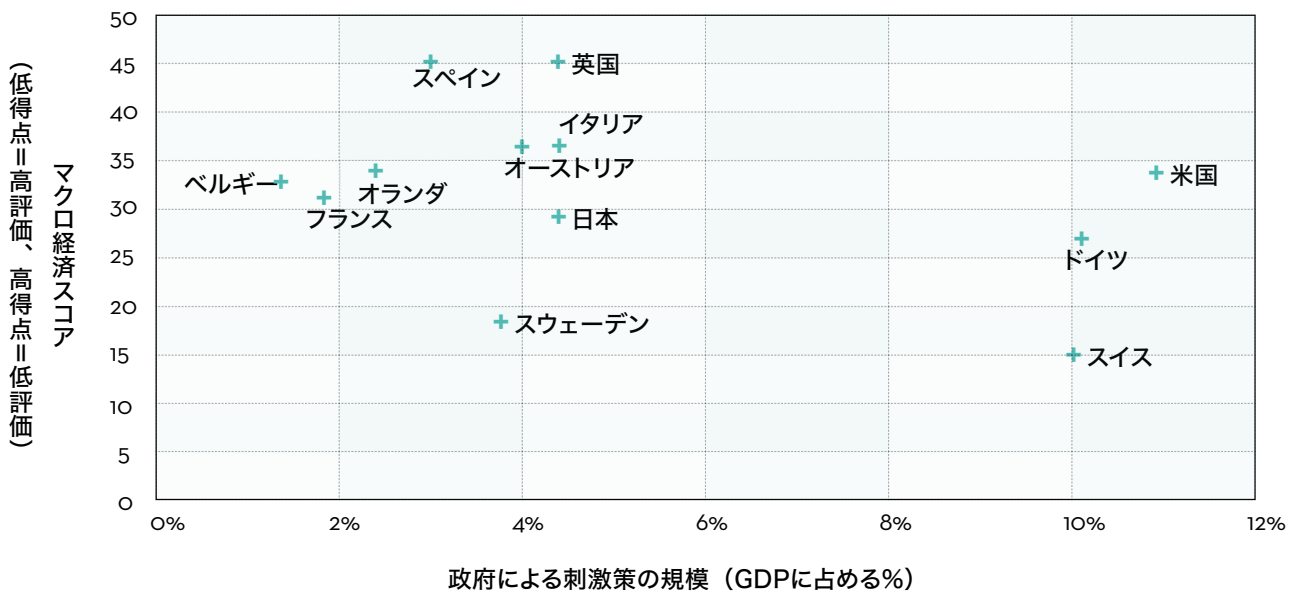
- 労働者に対する支援

- すべての分析対象国で政府の対応が明らかになる中で、全労働者への疾病手当の提供が拡充され、政策立案の柱となっていきました。
- 同じことが失業給付の増額や申請手続きの簡素化にも当てはまり、さまざまな契約形態で働く、より多くの労働者に提供されつつあります。多くの国で、フリーランサーや自営業者、またアーティストやスポーツ関係者などの特定業種向けの所得支援も認められています。
- この危機の性質を踏まえ、引き続き多くの国では、特に労働時間の短縮と解雇の猶予などの支援策がまとめて実施されています。
- 他の支援策と並行してスキル開発への投資を実施する国も増えてきているようです。このような政府の主な狙いは、失業者の支援に関連して、労働市場を活性化させる政策を実施することです。



政府が実施している対策の規模（その国のGDPに占める割合）とマクロ経済的な成果、また予測される失業率の上昇を比較検討することによって、以下の傾向が明らかになりました。

- 米国は最大規模の経済刺激策を実施しているにもかかわらず、すべてのマクロ経済KPIは平均的な水準にとどまっており、失業率も急上昇しています。このような状況になっている理由の一つとしては、米国の刺激策の大部分が労働者の失業給付や疾病手当に充当されており、これらが「救済措置」として分類されているということが挙げられます。他の国ではこれらの対策は標準的な社会保障制度の一部として分類されているため、特別な刺激策としてカウントされていません。
- ドイツとスイスはいずれも経済刺激策に多額の投資を行っており、これは広い範囲をカバーする労働時間短縮制度とも部分的に関連しています。両国のマクロ経済スコアは好調で、失業率もそれほど上昇していないことから、この投資によって十分なリターンが得られていると言えます。



E. 結論

国によって、実際のパンデミックに対するスタート地点や置かれている状況はさまざまです。現在のような流動的な段階で、特定の政策によるマクロ経済効果の因果関係を推定する場合は、かなりの憶測が含まれることが避けられないため、各政策の有効性を比較する作業には一定のリスクが伴います。しかし、そうしたリスクを踏まえた上で、分析対象の12カ国のデータから判断すると、以下のことが言えることが分かりました。

▶ **スイス、スウェーデン、およびドイツ**は、マクロ経済指標全般で優れた成果が見られます。**スイスとドイツ**の間には、経済刺激策の相対的な規模、労働時間短縮制度の設計、および感染者死亡率の点で類似性が見られ、特定の要因はマクロ経済パフォーマンスを向上させるということが示唆されています。他方、**スウェーデンの例**は、代替的なアプローチを採用した場合でも成果を出せるということを示しています。

▶ ただし、発表されている政策の範囲／数とそれらの対策が及ぼす実際の経済的影響との間には、直接的な関連性はなさそうです。むしろ、雇用と流動性を守ることを絞った対策をタイムリーに実施することが鍵となるようです。

▶ このモデルでは、早期の段階で**公衆衛生の制度を守り**、感染者死亡率をなるべく低く抑えることができれば、命を救えるだけでなく、経済全体（GDP）の下落にも一定の歯止めをかけられるということが示されました。





▶ 確認された相関関係の一つとして、死亡率が高い国ほど、GDPの下落幅も大きい傾向が見られます。ただし**スウェーデン**は例外で、死亡率が高いもののGDPはそれほど大きく下落していません。

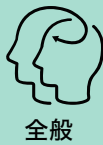



▶ 国内の感染者数は、経済的影響を測る上で役立つ唯一の決定要因ではありません。**スイス**政府の対応は効果があったと見られ、感染者数は多かったものの、マクロ経済のパフォーマンスへの影響は最小限に抑えることができています。しかし**英国**はその逆で、感染者数は比較的少なかったものの、大きな経済的影響を受けています。

▶ **日本**は検査率が低いため、COVID-19の感染者数と死亡者数のデータの正確性が疑問視されます。しかし、この例は、たとえ感染率が非常に低い国であっても、相互依存的なグローバル化経済の中では、パンデミックの影響を大きく受けている同等の先進国に匹敵するほどの経済的打撃を被る場合があるということを示しています。

▶ **EU市場全体**を見渡すと、フランス、ドイツ、イタリア、およびスペインでは、経済復興の見通しが改善されてきました。これらの国の景況感指数（ESI）のスコアは、ブロック外の他の経済大国（日本、米国、英国）や好結果を出しているスイスをも上回っています。




F. 国別の簡単なまとめ(アルファベット順)




概要		政府による対策		
<p>オーストリアは引き続き予測GDPに対して安定したパフォーマンスを示しており、雇用の維持を重視した政策を実施しているために、労働市場は平均よりも健全な状態にあります。しかし、投資家や消費者はオーストリア経済をそれほど信頼していない様子で、結果的に株式市場や景況感指数のスコアが低くなっています。</p>		 <p>全般</p>	対応策が初めて発表された日	3月15日
			経済刺激策の規模(対GDP比%) / 4月	8% / 8%
			COVID-19の検査が実施された人口の割合	8%
			COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	1763 / 3.92%
<p>主な指標</p>		 <p>企業に対する支援</p>	融資の条件の緩和	✓
			政府への支払いの延期/免除	✓
GDP成長率 (1月の予測との比較)	-5.5% (-6.5%p)	 <p>労働者に対する支援</p>	事業コストに対する助成金	✓
予測失業率 (2019年との比較)	5.8% (+31.8%)		病気休暇中の労働者に対する補償	✓
マクロ経済の順位 / 12カ国中 (4月の順位 / 10カ国中)	9(2)	 <p>労働者に対する支援</p>	労働時間の短縮	✓
グループ	C		疾病手当の拡充	
			失業給付の増額または申請手続きの簡素化	
		解雇の猶予	✓	
		自営業者向けの所得支援	✓	
		スキル開発への投資		
		その他の社会的支援策	✓	
		合計スコア	8	
<p>オーストリアは、COVID-19対策専用の新しい労働時間短縮制度を実施しました。これにより解雇の猶予期間を定め、平均所得額に応じた賃金補償を提供しています。</p>				




概要		政府による対策		
<p>ベルギーの刺激策の規模は控えめであるものの、経済と労働市場の面で優れた結果をもたらしています。ベルギーの人口100万人当たりのCOVID-19感染者数が2位であることを踏まえれば、十分な成果と言えるでしょう。ベルギーの政策対応はボトムアップのアプローチで、労働者に対する支援をより重視しているようです。</p>		 <p>全般</p>	対応策が初めて発表された日	3月15日
			経済刺激策の規模(対GDP比%) / 4月	1.25% / 0.7%
			COVID-19の検査が実施された人口の割合	39.8%
			COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	4612 / 16.3%
<p>主な指標</p>		 <p>企業に対する支援</p>	融資の条件の緩和	✓
			政府への支払いの延期/免除	✓
GDP成長率 (1月の予測との比較)	-7.2% (-8.4%p)	 <p>労働者に対する支援</p>	事業コストに対する助成金	
予測失業率 (2019年との比較)	7.0% (+31.4%)		病気休暇中の労働者に対する補償	
マクロ経済の順位 / 12カ国中 (4月の順位 / 10カ国中)	6(4)	 <p>労働者に対する支援</p>	労働時間の短縮	✓
グループ	B		疾病手当の拡充	
			失業給付の増額または申請手続きの簡素化	✓
		解雇の猶予		
		自営業者向けの所得支援	✓	
		スキル開発への投資		
		その他の社会的支援策	✓	
		合計スコア	6	
<p>ベルギー政府は、すべての一時的な失業を不可抗力と見なし、賃金補償に加えて日ごとの給付金を労働者に支払うことで、労働時間短縮制度を利用しやすくしました。</p>				




フランス	
<p>フランスは、最初の政策発表の時から順位を4つ上げており、経済指標も全体的に改善されています。フランスの政策は幅広い課題をカバーしていますが、直接的な経済刺激策の合計規模は、スコアが高い他の国と比べると非常に低い水準にとどまっています。また残念ながら、フランスの感染者死亡率は、全分析対象国の中で最高となっています。</p>	
<p>概要</p>	
<p>政府による対策</p>	
<p>主な指標</p>	
GDP成長率 (1月の予測との比較)	-8.2% (-9.5%p)
予測失業率 (2019年との比較)	10.1% (+24.7%)
マクロ経済の順位 / 12カ国中 (4月の順位 / 10カ国中)	4 (8)
グループ	B
<p>全般</p>	
<p>対応策が初めて発表された日</p>	
<p>3月12日</p>	
<p>経済刺激策の規模 (対GDP比%) / 4月</p>	
<p>1.9% / 2%</p>	
<p>COVID-19の検査が実施された人口の割合</p>	
<p>12.7%</p>	
<p>COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率</p>	
<p>2718 / 19.25%</p>	
<p>企業に対する支援</p>	
<p>融資の条件の緩和</p>	
<p>✓</p>	
<p>政府への支払いの延期 / 免除</p>	
<p>✓</p>	
<p>事業コストに対する助成金</p>	
<p>✓</p>	
<p>病気休暇中の労働者に対する補償</p>	
<p>✓</p>	
<p>労働時間の短縮</p>	
<p>✓</p>	
<p>労働者に対する支援</p>	
<p>疾病手当の拡充</p>	
<p>✓</p>	
<p>失業給付の増額または申請手続きの簡素化</p>	
<p>✓</p>	
<p>解雇の猶予</p>	
<p>✓</p>	
<p>自営業者向けの所得支援</p>	
<p>✓</p>	
<p>スキル開発への投資</p>	
<p>✓</p>	
<p>その他の社会的支援策</p>	
<p>✓</p>	
<p>合計スコア</p>	
<p>10</p>	
<p>フランス政府は引き続き、雇用主が労働者に払う賃金の100%を負担しています。労働者は、高額な賃金補償を活用してトレーニングを受けることが奨励されています。</p>	










ドイツ	
<p>ドイツは、本レポートの初版以来、経済刺激策を劇的に拡大しています。最初に個別の業界がより高額の賃金補償を支払うアプローチを主導し、社会的な当事者の中で幅広い議論が行われた後に、ドイツ政府は、追加的な資金を提供することで、労働時間が短縮された労働者の賃金補償を拡充しました。賃金補償は現在では、労働時間が短縮されてから4カ月後までは70% (親である場合は77%)、7カ月後までは80% (同87%) の水準まで増額されています。</p>	
<p>概要</p>	
<p>政府による対策</p>	
<p>主な指標</p>	
GDP成長率 (1月の予測との比較)	-6.5% (-7.6%p)
予測失業率 (2019年との比較)	4.0% (+25.0%)
マクロ経済の順位 / 12カ国中 (4月の順位 / 10カ国中)	3 (5)
グループ	A
<p>全般</p>	
<p>対応策が初めて発表された日</p>	
<p>3月9日</p>	
<p>経済刺激策の規模 (対GDP比%) / 4月</p>	
<p>10.1% / 6.9%</p>	
<p>COVID-19の検査が実施された人口の割合</p>	
<p>32.9%</p>	
<p>COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率</p>	
<p>2060 / 4.46%</p>	
<p>企業に対する支援</p>	
<p>融資の条件の緩和</p>	
<p>✓</p>	
<p>政府への支払いの延期 / 免除</p>	
<p>✓</p>	
<p>事業コストに対する助成金</p>	
<p>✓</p>	
<p>病気休暇中の労働者に対する補償</p>	
<p>✓</p>	
<p>労働時間の短縮</p>	
<p>✓</p>	
<p>労働者に対する支援</p>	
<p>疾病手当の拡充</p>	
<p>✓</p>	
<p>失業給付の増額または申請手続きの簡素化</p>	
<p>✓</p>	
<p>解雇の猶予</p>	
<p>✓</p>	
<p>自営業者向けの所得支援</p>	
<p>✓</p>	
<p>スキル開発への投資</p>	
<p>✓</p>	
<p>その他の社会的支援策</p>	
<p>✓</p>	
<p>合計スコア</p>	
<p>7</p>	
<p>スキル開発インセンティブの一環として、雇用主でも従業員でも、トレーニングプログラム用のバウチャーを受け取ることができます。このインセンティブは労働時間短縮制度に統合されていますが、そこに限定されているわけでないため、労働時間の短縮が終了した後も引き続きトレーニング資金の提供を受けられます。</p>	










概要		政府による対策		
<p>イタリアは、ヨーロッパでパンデミックが勃発した時に最初に公衆衛生に対する危機を迎えた国ですが、その後、持ち直しつつあります。大規模な追加経済刺激策の借り換えによって、部門ごとの社会基金が使われ、一次的に失業している労働者向けの社会的保護が提供されています。失業率と景況感に関しては比較的良好な結果が出ており、ある程度楽観できるものの注意が必要です。</p>		 全般	対応策が初めて発表された日	3月17日
			経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月	4.5% / 2%
			COVID-19の検査が実施された人口の割合	39.8%
			COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	4612 / 16.3%
主な指標		 企業に対する支援	融資の条件の緩和	✓
			政府への支払いの延期 / 免除	✓
GDP成長率 (1月の予測との比較)	-9.1% (-9.6%p)	 労働者に対する支援	事業コストに対する助成金	✓
予測失業率 (2019年との比較)	11.8% (+21.6%)		病気休暇中の労働者に対する補償	✓
マクロ経済の順位 / 12カ国中 (4月の順位 / 10カ国中)	9 (9)		労働時間の短縮	✓
グループ	C		疾病手当の拡充	✓
		失業給付の増額または申請手続きの簡素化	✓	
		合計スコア	解雇の猶予	✓
			自営業者向けの所得支援	✓
			スキル開発への投資	
			その他の社会的支援策	✓
			合計スコア	10
<p>イタリアは、3年前に部門ごとの社会基金を導入しており、これがパンデミックによる労働者の賃金への当初の影響を抑えるために役立ちました。当局が命じる隔離政策の一環として、政府はすべての疾病手当を負担し、業務由来の感染を労働災害と見なす予定です。</p>				















概要		政府による対策		
<p>日本は、中国の外でパンデミックによる影響を最初に被った国の一つです。検査の実施率が低く、実際の感染者数は報告よりも多い可能性があるものの、ソーシャルディスタンスやリモートワークに関する厳しいルールが課されたため、影響は比較的最小限に抑えられている模様です。これらの対策は成果をもたらしており、今までのところ、経済的な被害を限定することに成功しています。ただし、日本の労働市場の構造として、今まで長期にわたって流動性が低い状態が続いていることから、パンデミックのために失業率に深刻な影響が出ると予測されています。</p>		 全般	対応策が初めて発表された日	/
			経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月	4.5%
			COVID-19の検査が実施された人口の割合	1.6%
			COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	125 / 4.17%
主な指標		 企業に対する支援	融資の条件の緩和	✓
			政府への支払いの延期 / 免除	✓
GDP成長率 (1月の予測との比較)	-5% (-5.4%)	 労働者に対する支援	事業コストに対する助成金	✓
予測失業率 (2019年との比較)	4.3% (+79.1%)		病気休暇中の労働者に対する補償	✓
マクロ経済の順位 / 12カ国中 (4月の順位 / 10カ国中)	4 (なし)		労働時間の短縮	✓
グループ	B		疾病手当の拡充	✓
		失業給付の増額または申請手続きの簡素化		
		合計スコア	解雇の猶予	
			自営業者向けの所得支援	✓
			スキル開発への投資	
			その他の社会的支援策	✓
			合計スコア	7
<p>ヨーロッパ式の労働時間短縮制度は、アジア各国ではあまり一般的ではありません。日本の政府は、労働者の有給休暇への助成金を部分的に提供するような形でテクニカルな対策を行っています。また政府は、リモートワーク実施のインセンティブとして、COVID-19のパンデミック下で雇用を維持するために必要なテクノロジーの導入コストに対し、50%の助成金を提供しています。</p>				















概要		政府による対策		
<p>オランダの全体的なマクロ経済パフォーマンスは、普通あるいは良い状態にあります。もともとの経済状況が良好であったことが大きく貢献しています。しかし、失業率の数字が2倍になっている点は注目に値します。5.9%という失業率はまだそれほど高くないものの、この急上昇は懸念すべき兆候と言えます。</p>		 全般	対応策が初めて発表された日	3月17日
			経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月	2.5% / 1.6%
			COVID-19の検査が実施された人口の割合	14.85%
			COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	2497 / 12.82%
主な指標		 企業に対する支援	融資の条件の緩和	✓
GDP成長率 (1月の予測との比較)	-6.8% (-8.4%p)		政府への支払いの延期 / 免除	✓
予測失業率 (2019年との比較)	5.9% (+103.4%)		事業コストに対する助成金	✓
マクロ経済の順位 / 12カ国中 (4月の順位 / 10カ国中)	7 (5)		病気休暇中の労働者に対する補償	
グループ	B	 労働者に対する支援	労働時間の短縮	✓
			疾病手当の拡充	
			失業給付の増額または申請手続きの簡素化	
			解雇の猶予	(✓)
			自営業者向けの所得支援	✓
			スキル開発への投資	✓
			その他の社会的支援策	✓
		合計スコア	7	
<p>政府は、経済支援策の第2弾として、企業の倒産を防ぐため、NOW制度を利用した雇用主による解雇猶予を廃止することを検討しています。</p>				

概要		政府による対策		
<p>スペインは依然として、ヨーロッパで最も大きな打撃を受けている国です。政府は経済刺激策を拡大し、幅広い政策対応を実施していますが、依然としてマクロ経済指標は好転していません。スペインは、60日を超える厳しいロックダウンの後、経済活動を慎重に再起動しようとしているところです。</p>		 全般	対応策が初めて発表された日	3月12日
			経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月	3% / 0.7%
			COVID-19の検査が実施された人口の割合	34.8%
			COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	5735 / 11.8%
主な指標		 企業に対する支援	融資の条件の緩和	✓
GDP成長率 (1月の予測との比較)	-9.4% (-11%p)		政府への支払いの延期 / 免除	✓
予測失業率 (2019年との比較)	18.9% (+39%)		事業コストに対する助成金	✓
マクロ経済の順位 / 12カ国中 (4月の順位 / 10カ国中)	11 (10)		病気休暇中の労働者に対する補償	✓
グループ	D	 労働者に対する支援	労働時間の短縮	✓
			疾病手当の拡充	✓
			失業給付の増額または申請手続きの簡素化	✓
			解雇の猶予	✓
			自営業者向けの所得支援	✓
			スキル開発への投資	
			その他の社会的支援策	✓
		合計スコア	10	
<p>スペインの労働時間短縮制度であるERTEは、解雇と配当金の支払いの両方に猶予を設定しています。スペインは、Covid-19関連の解雇を不可抗力と見なしているため、該当する従業員は失業給付の全額を受け取れません。</p>				

スウェーデン																																
概要	政府による対策																															
スウェーデンは、他国の政府と比べてソーシャルディスタンスの導入をしばらく躊躇していたこともあり、そのパンデミックへの対応は、かなりの論議を巻き起こしていました。過去1カ月間で、スウェーデンの全体的なマクロ経済指標は劇的に改善され、分析対象国の中でスコアが最も高いグループに入ることになりました。特に予測失業率とPMIスコアは顕著に改善されました。ただし、対応に長い時間を要したため、スウェーデンの感染者死亡率は比較的高くなっています。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4"> 全般</td> <td>対応策が初めて発表された日</td> <td>13/3</td> </tr> <tr> <td>経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月</td> <td>3.8%/ 3.8%</td> </tr> <tr> <td>COVID-19の検査が実施された人口の割合</td> <td>14.7%</td> </tr> <tr> <td>COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率</td> <td>2641 / 12.3%</td> </tr> </table>	 全般	対応策が初めて発表された日	13/3	経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月	3.8%/ 3.8%	COVID-19の検査が実施された人口の割合	14.7%	COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	2641 / 12.3%																						
	 全般		対応策が初めて発表された日	13/3																												
経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月			3.8%/ 3.8%																													
COVID-19の検査が実施された人口の割合			14.7%																													
COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率		2641 / 12.3%																														
主な指標	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"> 企業に対する支援</td> <td>融資の条件の緩和</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>政府への支払いの延期 / 免除</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td rowspan="6"> 労働者に対する支援</td> <td>事業コストに対する助成金</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>病気休暇中の労働者に対する補償</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>労働時間の短縮</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>疾病手当の拡充</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>失業給付の増額または申請手続きの簡素化</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>解雇の猶予</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">グループ</td> <td>自営業者向けの所得支援</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>スキル開発への投資</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>その他の社会的支援策</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計スコア</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">スウェーデンは、労働時間短縮制度の代わりに、一時解雇に対する賃金補償を提供しています。この制度は、雇用主の賃金支払いを半分にするるとともに、労働者の賃金の90%以上を補償するものです。</td> </tr> </table>	 企業に対する支援	融資の条件の緩和	✓	政府への支払いの延期 / 免除	✓	 労働者に対する支援	事業コストに対する助成金	✓	病気休暇中の労働者に対する補償	✓	労働時間の短縮	✓	疾病手当の拡充	✓	失業給付の増額または申請手続きの簡素化	✓	解雇の猶予		グループ	自営業者向けの所得支援	✓	スキル開発への投資	✓	その他の社会的支援策			合計スコア	8		スウェーデンは、労働時間短縮制度の代わりに、一時解雇に対する賃金補償を提供しています。この制度は、雇用主の賃金支払いを半分にするるとともに、労働者の賃金の90%以上を補償するものです。	
 企業に対する支援	融資の条件の緩和		✓																													
	政府への支払いの延期 / 免除	✓																														
 労働者に対する支援	事業コストに対する助成金	✓																														
	病気休暇中の労働者に対する補償	✓																														
	労働時間の短縮	✓																														
	疾病手当の拡充	✓																														
	失業給付の増額または申請手続きの簡素化	✓																														
	解雇の猶予																															
グループ	自営業者向けの所得支援	✓																														
	スキル開発への投資	✓																														
	その他の社会的支援策																															
	合計スコア	8																														
	スウェーデンは、労働時間短縮制度の代わりに、一時解雇に対する賃金補償を提供しています。この制度は、雇用主の賃金支払いを半分にするるとともに、労働者の賃金の90%以上を補償するものです。																															

スイス																																
概要	政府による対策																															
スイスは、指標全般で好成績を上げており、分析対象国の中で引き続きトップの地位を占めています。スイス政府は経済刺激策をさらに拡充し、雇用保護プログラムも引き続き良好な成果を実現しています。人口当たりの感染者数が最も多い国の一つであったにもかかわらず、スイスは新規感染者数を非常に低い水準の数字で安定化させることに成功しています。スイスの危機対応と政府が実施している対策は、今後も模範となるでしょう。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4"> 全般</td> <td>対応策が初めて発表された日</td> <td>2月28日</td> </tr> <tr> <td>経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月</td> <td>10%/ 6%</td> </tr> <tr> <td>COVID-19の検査が実施された人口の割合</td> <td>35.8%</td> </tr> <tr> <td>COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率</td> <td>3506 / 5.1%</td> </tr> </table>	 全般	対応策が初めて発表された日	2月28日	経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月	10%/ 6%	COVID-19の検査が実施された人口の割合	35.8%	COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	3506 / 5.1%																						
	 全般		対応策が初めて発表された日	2月28日																												
経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月			10%/ 6%																													
COVID-19の検査が実施された人口の割合			35.8%																													
COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率		3506 / 5.1%																														
主な指標	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"> 企業に対する支援</td> <td>融資の条件の緩和</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>政府への支払いの延期 / 免除</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td rowspan="6"> 労働者に対する支援</td> <td>事業コストに対する助成金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>病気休暇中の労働者に対する補償</td> <td></td> </tr> <tr> <td>労働時間の短縮</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>疾病手当の拡充</td> <td></td> </tr> <tr> <td>失業給付の増額または申請手続きの簡素化</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>解雇の猶予</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">グループ</td> <td>自営業者向けの所得支援</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>スキル開発への投資</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の社会的支援策</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計スコア</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">スイスは、労働時間の短縮と企業への融資サポートの両方を組み合わせた緊急支援策を実施しました。スイスは過去数週間で支援を拡充し、全体のうち37%（当初の予測では15%）もの労働者が、労働時間短縮の申請を行いました。それでもスイスの失業率は減らない水準の4%近くまで上昇しており、企業は採用活動を見合わせています。</td> </tr> </table>	 企業に対する支援	融資の条件の緩和	✓	政府への支払いの延期 / 免除	✓	 労働者に対する支援	事業コストに対する助成金		病気休暇中の労働者に対する補償		労働時間の短縮	✓	疾病手当の拡充		失業給付の増額または申請手続きの簡素化	✓	解雇の猶予		グループ	自営業者向けの所得支援	✓	スキル開発への投資		その他の社会的支援策	✓		合計スコア	6		スイスは、労働時間の短縮と企業への融資サポートの両方を組み合わせた緊急支援策を実施しました。スイスは過去数週間で支援を拡充し、全体のうち37%（当初の予測では15%）もの労働者が、労働時間短縮の申請を行いました。それでもスイスの失業率は減らない水準の4%近くまで上昇しており、企業は採用活動を見合わせています。	
 企業に対する支援	融資の条件の緩和		✓																													
	政府への支払いの延期 / 免除	✓																														
 労働者に対する支援	事業コストに対する助成金																															
	病気休暇中の労働者に対する補償																															
	労働時間の短縮	✓																														
	疾病手当の拡充																															
	失業給付の増額または申請手続きの簡素化	✓																														
	解雇の猶予																															
グループ	自営業者向けの所得支援	✓																														
	スキル開発への投資																															
	その他の社会的支援策	✓																														
	合計スコア	6																														
	スイスは、労働時間の短縮と企業への融資サポートの両方を組み合わせた緊急支援策を実施しました。スイスは過去数週間で支援を拡充し、全体のうち37%（当初の予測では15%）もの労働者が、労働時間短縮の申請を行いました。それでもスイスの失業率は減らない水準の4%近くまで上昇しており、企業は採用活動を見合わせています。																															

英国																																			
																																			
概要	政府による対策																																		
英国の感染状況は、他のヨーロッパ諸国と比べて2～3週間遅れの状態でした。そのためパンデミックのピークは、本稿の初版が発表された後で起きました。その結果、英国の指標全般のパフォーマンスは大幅に下落しました。最新の失業率やGDPの予測値は、はるかに悲観的な数字となっています。英国の復興の道は困難であるものの、政府の刺激策は拡充されており、Job Retention（雇用維持）制度も10月まで延長されています。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>対応策が初めて発表された日</td> <td>3月16日</td> </tr> <tr> <td>経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月</td> <td>4.5% / 1.4%</td> </tr> <tr> <td>COVID-19の検査が実施された人口の割合</td> <td>18.7%</td> </tr> <tr> <td>COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率</td> <td>3286 / 14.5%</td> </tr> </table>		対応策が初めて発表された日	3月16日	経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月	4.5% / 1.4%	COVID-19の検査が実施された人口の割合	18.7%	COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	3286 / 14.5%																									
			対応策が初めて発表された日	3月16日																															
経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月			4.5% / 1.4%																																
COVID-19の検査が実施された人口の割合			18.7%																																
COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率		3286 / 14.5%																																	
主な指標	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>融資の条件の緩和</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>政府への支払いの延期 / 免除</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>事業コストに対する助成金</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>病気休暇中の労働者に対する補償</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>労働時間の短縮</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>疾病手当の拡充</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>失業給付の増額または申請手続きの簡素化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>解雇の猶予</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自営業者向けの所得支援</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>スキル開発への投資</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">グループ</td> <td>その他の社会的支援策</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計スコア</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"> <p>英国は4月初旬に、国内のほぼ全労働者を対象とする「Coronavirus Job Retention Scheme（コロナウイルス雇用維持制度）」を導入しました。最近、刺激策も大幅に拡充されたばかりで、Job Retention制度も延長されました。</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>D</td> </tr> </table>		融資の条件の緩和	✓	政府への支払いの延期 / 免除	✓		事業コストに対する助成金	✓	病気休暇中の労働者に対する補償	✓	労働時間の短縮	✓	疾病手当の拡充	✓		失業給付の増額または申請手続きの簡素化		解雇の猶予		自営業者向けの所得支援	✓	スキル開発への投資	✓	グループ	その他の社会的支援策		合計スコア	6		<p>英国は4月初旬に、国内のほぼ全労働者を対象とする「Coronavirus Job Retention Scheme（コロナウイルス雇用維持制度）」を導入しました。最近、刺激策も大幅に拡充されたばかりで、Job Retention制度も延長されました。</p>				D
	融資の条件の緩和		✓																																
	政府への支払いの延期 / 免除	✓																																	
	事業コストに対する助成金	✓																																	
	病気休暇中の労働者に対する補償	✓																																	
	労働時間の短縮	✓																																	
	疾病手当の拡充	✓																																	
	失業給付の増額または申請手続きの簡素化																																		
	解雇の猶予																																		
	自営業者向けの所得支援	✓																																	
	スキル開発への投資	✓																																	
グループ	その他の社会的支援策																																		
	合計スコア	6																																	
	<p>英国は4月初旬に、国内のほぼ全労働者を対象とする「Coronavirus Job Retention Scheme（コロナウイルス雇用維持制度）」を導入しました。最近、刺激策も大幅に拡充されたばかりで、Job Retention制度も延長されました。</p>																																		
		D																																	

米国																																			
																																			
概要	政府による対策																																		
4月中に米国の感染者数は急増し、世界的に最も大きな被害を受けた国となっています。個別の州レベルでは、ニューヨーク州が特に深刻な公衆衛生危機に直面しています。これに対して政府は、大規模な経済刺激策を導入しました。しかし、この刺激策の大部分は、他国であれば必要最低限とされる取り組みに充当されています。マクロ経済指標は悪くなく、大規模な刺激策が実施されているにもかかわらず、労働市場はあまり効果的に守られていたとは言えません。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>対応策が初めて発表された日</td> <td>3月11日</td> </tr> <tr> <td>経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>COVID-19の検査が実施された人口の割合</td> <td>26.3%</td> </tr> <tr> <td>COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率</td> <td>4187 / 6.1%</td> </tr> </table>		対応策が初めて発表された日	3月11日	経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月	11%	COVID-19の検査が実施された人口の割合	26.3%	COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率	4187 / 6.1%																									
			対応策が初めて発表された日	3月11日																															
経済刺激策の規模（対GDP比） / 4月			11%																																
COVID-19の検査が実施された人口の割合			26.3%																																
COVID-19の感染者数 / 人口100万人感染者死亡率		4187 / 6.1%																																	
主な指標	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>融資の条件の緩和</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>政府への支払いの延期 / 免除</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>事業コストに対する助成金</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>病気休暇中の労働者に対する補償</td> <td></td> </tr> <tr> <td>労働時間の短縮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>疾病手当の拡充</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td>失業給付の増額または申請手続きの簡素化</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>解雇の猶予</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自営業者向けの所得支援</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スキル開発への投資</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">グループ</td> <td>その他の社会的支援策</td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>合計スコア</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2"> <p>労働時間の短縮や一次的な失業への対策が行われておらず、全体的な状況を安定化させる仕組みも乏しいことから、刺激策の大部分が、社会基盤を保護するために必要とされている状況です。</p> </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>B</td> </tr> </table>		融資の条件の緩和	✓	政府への支払いの延期 / 免除	✓		事業コストに対する助成金	✓	病気休暇中の労働者に対する補償		労働時間の短縮		疾病手当の拡充	✓		失業給付の増額または申請手続きの簡素化	✓	解雇の猶予		自営業者向けの所得支援		スキル開発への投資		グループ	その他の社会的支援策	✓	合計スコア	6		<p>労働時間の短縮や一次的な失業への対策が行われておらず、全体的な状況を安定化させる仕組みも乏しいことから、刺激策の大部分が、社会基盤を保護するために必要とされている状況です。</p>				B
	融資の条件の緩和		✓																																
	政府への支払いの延期 / 免除	✓																																	
	事業コストに対する助成金	✓																																	
	病気休暇中の労働者に対する補償																																		
	労働時間の短縮																																		
	疾病手当の拡充	✓																																	
	失業給付の増額または申請手続きの簡素化	✓																																	
	解雇の猶予																																		
	自営業者向けの所得支援																																		
	スキル開発への投資																																		
グループ	その他の社会的支援策	✓																																	
	合計スコア	6																																	
	<p>労働時間の短縮や一次的な失業への対策が行われておらず、全体的な状況を安定化させる仕組みも乏しいことから、刺激策の大部分が、社会基盤を保護するために必要とされている状況です。</p>																																		
		B																																	



THE ADECCO GROUP

